

令和5年度 自己評価結果公表シート

学校法人 楠學院 二色幼稚園

1 本園の教育目標

豊かな自然環境の中で、幼児の主体的な活動の場として よく見て よく聞いて よく考えて よくすることを教育方針に掲げ 自立創造性豊かな子どもを育てることを目標にし 物事に興味・関心を持ち 自ら取り組み 会得したことを十二分に活用できる教育環境を構築し 人格形成の基礎となる幼児教育を目指している。

2 令和4年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検・評価を実施することで教員が客観的に自園を見たり、日々の教育活動を振り返る。また、教師同士が教育の意見交換・指導・検討をし、即行動をとることで幼児教育の質の向上と自身の技術向上につなげる。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育の資質向上のために 園内研修を充実させる	幼児の活動を促進するため教職員間での共通理解を求め情報を共有し 指導計画及び週案を充実させる園内研修を実施し園児の姿についても 日々の意見交換をして教育活動に活用している
子育て支援の充実	就学就園前の幼児を対象に園庭開放をし活動の一環として在園児との 係わりを持ち地域の活動の場としての役割も果たし 充実を図っている 教職員のカウンセリングの基礎の理解を深め円滑な機能を目指し資質の 向上を図り在園児の保護者及び該当する方への子育て相談を実施して いる
保護者のニーズの把握に 努め適切な対応をはかる	保護者との懇談を持ち 幼稚園教育に即した内容を示し共通な意識を 見出し家庭との連携を密にし積極的に取り組んでいる

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取組状況
新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながらの教育活動は、子ども達・保護者・教師の健康と安全を第一に考える日常であった。コロナ前であれば当たり前に行っていた教育活動が人数制限や時間短縮、中止や内容の変更など当たり前ではない状況が続いた。しかし、そんな状況下で保護者の理解や協力を頂くことの感謝、子ども達に対する安全や健康、教師の士気の高まりを得ることができた。教育活動の工夫としては、コロナ禍で中止していた参観や親子遠足など大人数が集う活動を分散型に変更し少人数で参加できる活動へ変更をしたり、新たに 初期・中期・後期に分散型教育参観日を実施し、保護者に日常の子ども達の幼稚園生活を参観して頂いた。このコロナ禍で笑顔やコミュニケーションといった幼児教育にとって大切なことが大きく変わった。今後も幼児期は人格形成の基礎である大切な時期であるということを伝え子ども達の更なる成長に繋がる質の高い幼児教育を続けていきたい。

5 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
教師の育成	どんなに良い教育方針・環境があっても、そこにいる教師の園児に対する愛情・情熱がなければ意味がない。幼児教育に全力を注げる様に個々に合わせた指導をし教師をサポートしていく
園に対する保護者の充足を把握	子育て中の保護者が望む幼稚園像を把握し社会が求める幼稚園の姿も確認し今後の幼稚園教育に役立てたい
園の環境整備	教職員が園舎や園庭の安全・衛生面の点検を図り 園児自らが安全に対する対応力を維持できるように 活動状況を注視し更なる環境整備の充実を図りたい

6 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく 安心して子供を任せることのできる幼稚園であると認められる

7 第三者の評価

公認会計士の監査を受け 適正に運営されていると認められている